

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

知っていますか？ 糖尿病患者の死亡原因

皆さんは、糖尿病患者さんの一番の死亡原因が何かご存じでしょうか。

「腎不全でしょう」と思われるかもしれませんが、それは違います。「高血糖による昏睡かな」とも考えられますが、それも違います。

実は一番の死因はがん、悪性腫瘍です。糖尿病患者さんのがんによる死亡率は38%で、第二位が感染症の17%、第三位は血管障害（心臓、脳卒中など）の15%です。「それじゃ一般の人と変わらないの？」と思われるかもしれませんが、実は糖尿病患者さんは一般の人よりもがんになりやすいんです。

糖尿病患者さんのがん発症率は、一般の人に比べてがん全体で1.26倍、肝臓がんで2倍、膵臓がん1.5倍、腎臓がん2倍、大腸がん1.5倍、子宮体がん2.7倍、乳がん1.7倍となり、ほとんどののがんの発症を増やします。これは軽い糖尿病の患者さんもコントロール不良の患者さんも含めた値で、糖尿病のコントロールが悪いとさらに発がん率は上昇します。

早期発見のため適切に がん検診を受けましょう

「こんなにいろんながんになりやすいなんてどうすればいいのか？」と思われる方もいるでしょう。

まず、適切にがん検診を受けることが大切です。市町村によるがん検診、つまり胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、女性はさらに乳がん、子宮がん検診を受けてください。

胃がん検診はできるだけ胃カメラを受けてください。さらに糖尿病の患者さんにとって重要な肝臓と膵臓の検査が必要です。肝臓関連死は肝臓がんと肝硬変

を合わせて死因の10%になりますので、腹部超音波検査を受けて肝胆膵のがんをチェックしましょう。腹部超音波検査を受ければ腎臓も膀胱も確認できます。

男性では胃カメラ、腹部超音波検査、検便（大腸がんのチェック）、胸部レントゲン（喫煙歴のある方はできれば低線量CT）を、女性にはこれに加えてマンモグラフィ（乳がん）、子宮細胞診（子宮がん）、できれば子宮の超音波検査をすればほとんどのチェックが可能です。胃カメラを除けばそれほど負担の大きい検査はありません。ぜひ毎年受け、その結果を主治医の先生に報告しましょう。

私の外来では患者さんに検診結果を報告してもらい、カルテに記載し、抜けることがないように気をつけています。これらの検診を受けた上で日野病院が行っているMRIによるDWIBS全身がん検診を受ければより安心です。詳しくは日野病院のホームページをご覧ください。

もう一つ糖尿病の患者

さんが知っておかなければいけないことは、今までと同じように食事療法、薬物療法をしているのに、急に血糖のコントロールが悪くなったときは要注意です。

暴飲暴食をして糖尿病が悪化するのとは当然ですが、そんな覚えがないのに悪化した場合はがんができてくる可能性があります。特に膵臓がんができるとう糖尿病が悪化します。そんなときは主治医の先生に相談して精密検査を受けましょう。

糖尿病の患者さんは一般の人以上に、しっかりとがん検診を受けることが大切です。検診をついつい先延ばしにしないように主治医の先生にチェックしてもらうのもいい方法です。

